

# 新型コロナ 第2波にもそなえ

## 地域経済ささえ、

日本共産党松山市議団は、寄せられた不安や願いを一つひとつ市へ要求。国が行う子どもひとり1万円の特別給付に加え、ひとり親家庭など児童扶養手当受給世帯へ1世帯5万円の独自支援が実現。また、休校となった3月の学校給食費の返還、就学援助世帯へ給食費相当分の給付も、早くに実っています。



# 子どもたちの 学び、安全を 保障するために

ご意見・ご要望を  
右の返信はがきで  
お寄せください



「学校にいけない」「外で遊べない」「イライラする」「やる気がしない」一子どもたちもかつてないような不安やストレスをため込んでいます。また、長期の休校は、学習に大きな遅れと格差をもたらしました。子どもたちをゆったり受けとめ、学びとともに、人間関係の形成、遊びや休息をバランスよく補償する柔軟な教育が必要です。

- ✓ 教室にもソーシャルディスタンスを  
40人学級→20人程度の授業実現へ
- ✓ 詰め込み、駆け足の授業からの転換を  
「学習内容の精選」で核となる内容を見定め  
深く教える

## 高校への就職支援員補充 学校給食費の負担軽減へ

田中県議は5月20日、県教育委員会に対して、学校再開にあたり以下の内容を要望しました。

- 児童生徒の心身のケアを最優先に
- 部活に取り組んできた中3、高3の成果を示せる代替大会を各競技で検討できるよう連携を
- 高校への就職支援員の補充を
- 学校給食費の負担軽減を市町と連携し対応を

県教育委員会に要望する田中県議＝県庁・5月20日



### 高校入試 授業の進捗とあわせ、文科省通知ふまえ、柔軟に対応

県教委は「就職支援員は今年度は役割大きく、補充していきたい」「高校入試は2年生までの学習中心等文科省通知もふまえ、柔軟に対応したい」「授

業時間配分は各学校判断に委ねる。一律に夏休み大幅削減だけにはならないと考える」などと話しました。

# 命・くらしを守る施策さらに



医療従事者が  
ホテル等  
宿泊した場合の  
宿泊費を  
支援

医師や  
看護師に

日額4,000円  
「応援金」  
支給

## 県民世論や現場の声 反映

愛媛県4月補正予算では、新型コロナウイルス感染症緊急対策事業のなかで、「医療従事者等応援手当金」を創設し、新型コロナに直接対応している医療従事者に1日4,000円を支給。5月知事専決補正予算では、「新型コロナウイルス感染症医療従事者宿泊費助成事業」をつくり、新型コロナに対応する医療従事者の負担軽減をはかるため、宿泊費用上限9,800円を助成することなどが組み込まれています。こうしたことは、最前線でごんばっていただいている現場の声や県民世論の反映です。

また、県は、PCR検査を実施する機器を3月に1台増やし、さらに5月に2台購入。第2波を想定しながらも、県民の世論によって、検査体制をさらに充実させるよう力をあわせましょう。

田中県議は5月19日に医療関係では3回目になる申し入れ。引き続き、「保健所含めた現場の人材確保含め増員を」「コロナ対応、外来大幅減などによる赤字と疲弊に苦しむ病院そのものへの財政的支援を」「PCR検査センター、発熱外来の設置など検査や医療体制の拡充を」と提起しています。

さらに

## 病院そのものへの財政的支援へ PCR検査体制と医療の充実を



### 愛媛県議会・松山市議会だより

2020年  
コロナ対策特別号 **日本共産党**

連絡先 県議会 松山市一番町4丁目4-2 TEL 089(941)2111(特)  
市議会 松山市二番町4丁目7-2 TEL 089(948)6665(共産党控室)  
事務所 松山市立花1丁目3-44 TEL 089(947)2411

※この議会報告は5月末に編集しました。

田中かづひ  
県議会議員



小崎愛子  
市議会議員



杉村ちえ  
市議会議員

